

## 新日本石油基地で臭気対策設備の竣工式を実施 ～臭気解消とエネルギーの有効利用への取組み～


当社(社長:西尾 進路)グループの原油中継備蓄会社である新日本石油基地株式会社(社長:淵脇 哲朗、鹿児島県鹿児島市、以下「新日本石油基地」)は、原油タンカーからの排出ガスを回収することで、原油に由来する臭気成分を取り除くと同時に、エネルギーとして再利用する設備の建設を喜入基地(鹿児島県鹿児島市)にて進めてまいりましたが、このほど同設備が完成し、2007年4月23日(月)に竣工式を執り行いましたのでお知らせいたします。

新日本石油基地では、2004年から臭気成分などの排出ガスの性状把握について、鹿児島大学と産学共同研究を進めてまいりました。今回の設備により、臭気成分の98%以上を削減するとともに、排出ガス中のエネルギーを再利用し、石油資源の効率利用も可能となります。

なお、今回の設備は、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)のエネルギー使用合理化事業者支援補助事業として承認されております。

当社グループは、経営理念に「Environmental harmony(地球環境との調和)」を掲げ、「環境への取組み」をCSRの中の最重要分野と位置づけており、今後も地球環境保全に努め、サステナブル(持続可能)な社会の創造に貢献していきます。

以上

テープカットの様子  
テープカットの様子